

～ シリアル・ルネッサンス～

<http://www.riceisland.co.jp>

国内産雑穀の作柄

RIレポートNo34、38でもお伝えいたしましたが、今年のお米の作況は10月15日に農水省から作況指数は「90」と発表されました。今回のレポートは15年度産雑穀の作柄の報告です。

北海道...米の作況指数「73」

雑穀の収量は例年の2～3割減。減収の要因としては、今年の北海道(十勝地区)は気温が30を越えた日が無かった。例年では30を越える日は15日間ほどあるため、低温の影響が大きいと思われる。

岩手県...米の作況指数「73」

雑穀の収量は例年の2割減。減収の要因としては雨が少なかったのが一番の要因。その他日照不足による低温も影響が考えられる。「きび」は排水が良い圃場では比較的収量が良い。「ひえ」は他の雑穀に比べ収量が良く低温には強い。

長野県...米の作況指数「96」

雑穀の収量は例年の2割減。他の地区に比べて比較的収量を確保できたが、やはり日照不足と、収穫前の干ばつの影響が出ている。

愛媛県...米の作況指数「96」

雑穀の収量は例年の2～3割減。全体的に雨が多く湿害(圃場が常に濡れた状態)が影響している。「きび」「あわ」はとくに湿害の影響を受けやすい。

熊本県...米の作況指数「96」

雑穀の収量は例年の5割減。他の地区に比べて非常に悪く、播種時期(発芽期)に雨が少なかったことが一番の要因。例年であれば晴天になれば圃場が直ぐ乾くが雨天が続き圃場が乾く暇がないほどだった。

上記のような各産地からの報告がありました。北海道、岩手県では米の収量が例年の約3割減だったのに対し雑穀の収量は2割減であり、雑穀は低温に比較的強い作物と言えるのではないのでしょうか。また、愛媛県、熊本県などでは米の作況指数「96」に対し、雑穀の収量は2～5割減と多雨湿害による影響が顕著に見られ、雑穀(特にきび)は湿害に弱い作物と言えるのではないのでしょうか。

各産地では減収の対策として不稔粒(実が形成されていない状態)を防ぐ為、刈り取り時期を例年より遅らせるなどの対策を行っております。

RIでは産地と連携を取りつつ雑穀の栽培体系を確立し、国内での食糧自給率アップに取り組んでいます。

第9回 MS オピニオン交流セミナーのお知らせ

第1部 講演 午後2時00分～2時30分(30分)

「ライスアイランドの穀物戦略とビジネス戦略」

小塩 幹雄(株式会社ライスアイランド専務)

第2部 参加型討論セミナー 午後2時45分～4時45分(120分)

「穀物問題と日本の食ビジネスの行方」

小塩 幹雄+ミールソリューション研究会理事 ほか

第2部は会場のみなさんにもご参加いただけます。質問+意見を歓迎します

日時: 2003年12月11日(木) 午後2時00分から午後4時45分

場所: 「日本教育会館」8階 会議室 810号室

都営地下鉄・営団半蔵門線「神保町駅」徒歩3分、営団地下鉄東西線「竹橋駅」徒歩5分

参加費: 3000円(当日支払い)

申込み方法: FAXにてお申込みください。03-3351-1974

主宰: NPO 日本ミールソリューション研究会

詳しくはお気軽にお問い合わせください。